

病状の把握 診断力重要

病院の 実力

～神奈川編 159

甲状腺の病気

労感、手の震え——などが典型的な症状だ。

「橋本病」は、甲状腺に慢性的な炎症が生じ、進行するとホルモンが作られなくなる。主な症状は、▽首の腫れ▽むくみ、寒がり、皮膚の乾燥——などだ。橋本病の中で、ホルモン不足による「甲状腺機能低下症」の場合だけ、ホルモン薬で補充する。低下症でなければ、経過観察にとどめる。

バセドウ病で薬の効きが悪い場合や、甲状腺がん、良性腫瘍に対しては、甲状腺を摘出する手術が治療の選択肢となる。

のど仏の下あたりに横に数センチ切る切開手術が主流だ。近年は、傷が目立たない内視鏡手術も行われているが、実施施設は少ない。

甲状腺は体の表面に近いから簡単に手術できると思われがちだが、最適な治療を選択するためには、病状を的確に評価する医師の診断力が最も重要だ。経験豊富な専門施設を選びたい。

今回は「甲状腺の病気」を取り上げる。甲状腺は新陳代謝を調節するホルモンを作る臓器で、ホルモンの過剰や不足によって、全身に不調が出る。投薬や手術などで治療する。

一覧表には、2020年の新規患者数と、そのうちの代表的な病気である「バセドウ病」と「橋本病」の患者数を並べ、甲状腺の手術件数も掲載した。バセドウ病と橋本病の両方を患う人もいる。

「バセドウ病」は、ホルモンの分泌が過剰になる病気。▽首の腫れ▽眼球の突出▽動悸、疲

病院の実力「甲状腺の病気」

医療機関別2020年治療実績

(読売新聞調べ)

医療機関名	新規患者数 (人)	うち橋本病		手術件数
		うちバセドウ 病 (人)	(人)	
東海大	2061	159	105	62
昭和大横浜市北部	1844	280	488	358
済生会横浜市東部	1562	134	136	39
北里大	1026	187	135	168
済生会横浜市南部	672	55	49	21
昭和大藤が丘	497	99	112	20
県立がんセ	299	9	7	119
武田ク	282	118	107	0
きくち内科ク※	280	42	110	0
平塚共済	200	32	73	39
横浜市大病院	—	—	—	56

「セ」はセンター、「ク」はクリニック、「—」は無回答または不明。

※分院含む

全国の調査結果は18日の「安心の設計面」に掲載しました。